

令和8年度高知県発達障害児等支援スキルアップ研修（後半）

※各会により**時間・形式・申込締切日**が異なりますので、必ずご確認ください。

申込締切日	第5回	9月11日（金）17時
	第6回	9月28日（月）17時
	第7回	9月28日（月）17時
	第8回	10月26日（月）17時

	番号	開催日 時間	講義名・講師・内容	開催形式・場所
特別講演	5	9月28(月) 10:00 ～12:00 (受付:9:30～)	「発達障害の理解と支援 ～兄妹・父親・教員として～」パート② 高知大学教育学部附属特別支援学校 二宮 啓 氏 特別支援学校における子どもとの日々の関わりを通して見えてくる支援の工夫や課題、また保護者・家族の視点に立った支援の在り方について、実際のエピソードや実践例を交えながら子ども一人ひとりに寄り添う支援とは何か、多様な立場から考える。 【定員】 100名	集合 ふくし交流プラザ

番号	開催日	講義名・講師・内容	開催形式 場所
6	10月14日(水) 9:15～12:15	「障害者の権利擁護について」 高知県 障害福祉課 事業者担当 森田 丈士 企画調整担当 中町 理恵子 障害児支援の視点から、児童の権利擁護について考える。障害者虐待防止法、障害者差別解消法について説明するとともに、虐待が起こる背景や合理的配慮等について、講義を行う。 「ペアレント・プログラムの概念と手法」 療育福祉センター発達障害者支援センター チーフ 野々宮 京子 ペアレント・プログラムは、保護者が子どもの「行動」を客観的に理解する方法を学び、子育てへの自信をつけることを目的とした全6回のプログラムである。「ペアトレの地域版」として位置づけられている。講義では、プログラムの概要と実施方法について紹介する。	オンライン
7	10月20日(火) 13:30～15:30	テーマ「子どもの療育について－親子療育の実践をふまえて－」 療育福祉センター通園事業部 部長 楠目 千都ほか 児童発達支援の概要と通園事業部の3通所（自閉症児・難聴児・肢体不自由児）の実践についての概要と療育環境の見学及び体験を行う。 ※注意事項※ 【定員】：20名 【対象職種】：保育士、事業所で児童を対象に活動している理学療法士、作業療法士、言語聴覚士	集合 療育福祉センター3階 会議室

8	11月12日(木) 9:15~12:15	「決して怒らず、子ども達を褒めて伸ばす方法 -ABA 入門-」 障害児通所支援事業所 もりもりの森 代表理事 森下 浩充 氏 大人のかかわり方で子供たちの“できる！”成功体験は顕著に増加していく。講義の中では、応用行動分析（ABA）の基本的原理を用いて行動問題を抑制し、子ども達を決して怒ることなく、褒めて伸ばす方法を紹介する。 「ペアレント・トレーニング（ティーチャーズ・トレーニング）の概念と手法」 療育福祉センター発達障害者支援センター チーフ 野々宮 京子 ペアレント・トレーニングは、子どもの行動を理解し、具体的な対応方法を身につけることで、日常生活をより穏やかに送れるよう保護者をサポートするプログラムである。また、保護者だけでなく支援者にとっても、子どもとの関係づくりに有用な方法となっている。講義では、主に精研式のプログラムの概要について紹介する。	オンライン
---	-------------------------	--	-------